

マタイによる福音書 5 : 43~48

汝の敵を愛せよ。敵だとおもっていた人が助けることもある。いやなことを言う苦手な人もいるが、逆に仲のいい人はズバズバ言ってこない。敵だと思うのは自分の考え。自分が敵だと思っても神様が味方だと言ったら味方。

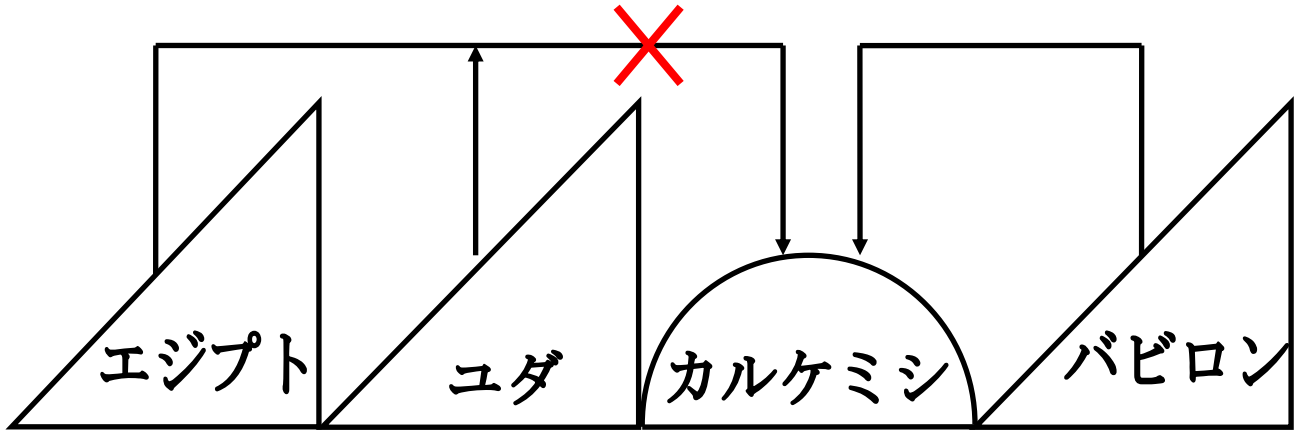
この聖句の本意は、あなたがた（律法学者ら）が敵だと思って憎んでいる私（イエス）を愛しなさい、という意味。

イザヤ書 53 : 1

思いがけない人から助けられる。

イザヤ書 46 : 11

神様の性格は、決めたら必ずやる。



第一の使命者	無知	対象	第二の使命者
モーセ	イスラエル	カナン	ヨシュア
イエス	ユダヤ人	ローマ	パウロ
ルター	キリスト教	カトリック	カルビン
イエス	人類	救い	再臨主

※「第一の使命者」は「対象」のために働きかけるが、「無知」な人々のせいで達成できず、神様は「第二の使命者」を送る。

マタイによる福音書 5 : 43~48

最後までなす神様。無知だったから神様の歴史を遅らせる。人生も自分が無知だったら自分の人生をおくらせる。

今の時代再臨主が来たとき、無知だと迎えられない。同じ過ちを繰り返してはいけない。

※最低祈りの大切さと神様を信じる中心者と相談の意識をつけさせるように。神様が人を通して働くから。神様を信じるだけでなく、どう働かれるのかを知らないといけない。

コリント人への第二の手紙 2 : 8

この知恵=イエスがキリストであるということ。無知によってユダヤ人はイエスを殺してしまった。無知だったから神様の歴史を遅らせる。人生も自分が無知だったら自分の人生をおくらせる。今の時代再臨主が来たとき、無知だと迎えられない。同じ過ちを繰り返してはいけない。